自立・自己実現
①生活習慣と規則を守る力
②仲間とともに高まる力
③自ら学び、考え、判断する力

学校だより DREAM

茨木市立西中学校
5月　No.3
発行責任　田中義明

5月 月間目標 準備・構え・礼・聴く 「聴く」にこだわる

５月の月間目標は「準備・構え・礼・聴く」です。

授業始めの４カ条、どれも大切なJ４ですが、特に「聴く」ことにこだわってほしいと思っています。これは、授業が始まり礼のあと、最初の言葉を先生の言葉からはじめてほしいという意味があります。「さあ、今から授業をはじめるぞ」という空気を先生も生徒も一緒につくってほしいということです。

昨年、「聴」という漢字のお話をしました。まず、おさらいをしておくと、
「聴」という漢字は、「耳」だけで聴くのではなく、「耳」に加えて右側に「十四」の「心」がついています。すなわち、十四の心をこめて、集中して相手の話を聴くという言う意味が込められています。また、「十」の「目」をもって真剣にまなざしを向け、「心」を込めて聴くという意味もあります。

「聴く」という言葉は、J3の中でもでてきます。これは、授業の中で、先生の話や、仲間の意見を集中して聴いて自分の考えを深めるという意味があります。真剣に聴いてくれる人には安心して、自分の考えをいうことができますね。

また、「聴く」ことは、学校生活の様々な場面で必要です。

それぞれのクラスで色々な人と出会って一か月、まだ話をしたこともない人もいると思います。今あなたは、あなたの隣に座っている人のことを知っていますか。

人のことを知るためには、まず人の話を「聴く」ことが必要です。

人には、どんな人も持っている心の法則があります。

人の心にある心理法則
① 自分に関心を持ってほしい。
② 自分のことをわかってほしい。
③ 自分のありのままを受け入れてほしい。
④ 自分の気持ちに共感してほしい。
⑤ 自分を認めてほしい。ほめてほしい。

誰でもが、自分に関心を持ってほしいし、自分のことをわかってほしい。また、ありのままの自分受け入れてほしい。そして、自分を認めてほしい。と考えています。ほめられて嫌な人はいません。あなた自信も、あなたの隣の人も、きっとそういう思いを持っているはずです。

だからこそ、仲間のことを知るため、仲間の話を聴く。それが、信頼関係を生み、みんなとつながれる方法だと思います。自分のことばかり話して、話を聴いてくれない人には、あまり話したくないですね。また、声の大きな人の話よりも、小さなつぶやきのような言葉の中に、クラ

ス全体がまとまるヒントがあるのではないかと思います。

「聴く」ということに、取り組んで下さい。

4月14日 部活紹介 5月1日 部活発会式

吹奏楽部

水泳部

野球部

陸上部

文芸図書部

４月１４日、１年生の待ちに待っていた部活紹介が生徒会本部役員の進行で行われました。

吹奏楽部の演奏から始まり、各部活動、コンパクトに紹介をしてくれました。

その後、約2週間の仮入部期間を経て、いよいよ部活発会式が5月１日に行われました。

発会式には以下の話をしました。

『部活動では、試合に勝ったり、コンクールに入賞することだけが目的ではありません。部活動を通じてこんな力を身につけてほしいです。

①あいさつができること

②ルールを守ること

③一緒に頑張れる仲間を見つけること

④基礎・基本を大切にすること

⑤継続する力を身につけること

中学校の3年間の間にみなさんは、心と体がとても成長します。2・3年生の皆さんは、先輩

女子バレー部

卓球部

女子バスケット部

男子バスケット部

サッカー部

テニス部

としての自覚をもって、１年生が早く馴染めるよう導いてほしいと思います。』

　それぞれの教室に集まった皆さんは、少し緊張感があって、真剣に先生の話を聴く表情は、とても引き締まって見え、今年１年間頑張るぞという気持ちが伝わってくるようでした。

　発会式終了後、多くの人たちが「こんにちは！」とあいさつしてくれたのがとても印象に残りました。

１年後にはあいさつするのが、当たり前になっていてほしいと思います。

スクールサポーターが来てくれます

　５月８日（金）より、大阪大学の３人の学生さんがサポーターとして来られます。１年生には数実（かずみ）浩佑さん、２年には宇田（うだ）智佳さん、３年には久次米（くじめ）凌馬さんが、それぞれ１年間、毎週金曜日に来てくださり、教室で授業のサポートや学級活動、行事などにも参加してくれます。

　授業中に勉強なども教えてくれるので、どんどん声をかけてみてください。